

地域価値を創造するグローバル・ヒーロー育成に向けたカリキュラム開発および実践

本校の位置する宮崎県えびの市は、温泉郷をはじめ農産物などの豊富な地域資源がある一方で、急速な人口減少などの地域課題を抱えている。このような環境で地域をフィールドにした新たな学び（探究活動）から、地域課題を国内外の社会課題と結びつけ、課題意識や貢献意識を持ち行動を起こす人材を育成することが地域の高校の果たす役割である。このことから、新たな地域価値を創造するグローバル・ヒーローとして活躍する人材の増加と人材還流の仕組みづくりを目指し、以下のことを実践する。

- 地域創生の核として飯野高等学校と地域が連携し、地域をフィールドにした探究活動の学びを通して社会を地域から分厚く支える人材の育成を行う。
- えびの市、企業（事業者、商工会）、大学等と連携し、これまで行ってきた実践型地域課題解決学習による探究的な学びさらに深化させ、全国のモデルとなる教育活動を展開する。
- 地域をフィールドに学ぶことで地域の魅力に気づき、地域から活動する生徒を増加させ、域外へ出た後にも人材が還流するしくみを構築する。

コンソーシアムの構成等研究開発の実施体制

宮崎県教育委員会

運営指導委員会

飯野高校魅力化の会

飯野高校

魅力化コアチーム委員会

コンソーシアムの構成団体

えびの市、えびの市議会、飯野高校同窓会、えびの市教育委員会、えびの市自治会連合会、えびの市農業協同組合、えびの市商工会、えびの市観光協会、えびの市地域婦人連絡協議会、えびの市子ども育成連絡協議会、えびの市体育協会、えびの市社会福祉協議会、えびの市民生委員児童委員協議会、えびの市教育・保育施設園長会、えびの市青少年育成市民会議、えびの市高齢者クラブ連合会、飯野高等学校PTA、えびの市中学校校長会、宮崎県議会、えびの市PTA連絡協議会、宮崎県立飯野高等学校、えびの市立飯野中学校、えびの市立飯野小学校

令和元年度の目標

全体計画・成果報告をおこなうコンソーシアム全体会を年3回実施する。

カリキュラム開発に関する戦略会議（コンソーシアムで作る魅力化コアチームによる会議）を年5回以上実施する。

カリキュラム内容の検証・考察を行うための研究授業を年2回実施する。

学習全体の実施状況を測る成果発表会を年1回実施する。

コンソーシアム内に魅力化コアチームを設置しカリキュラム開発を始め、協働する仕組みづくりを行う。

地域ビジョンと人材育成の目標を共有するコンソーシアム主催の研修会を行う。



魅力化コアチーム委員会
生徒の探究活動の伴走経験がある方も多く、カリキュラム内容に留まらず高校魅力化についても5回の会合で活発な意見が出された。

地域プロジェクトの実践
学科コースのカリキュラムでテーマ設定された30の生徒プロジェクト地域を巻き込みながら実践された。



全国の高校や団体と連携した取組の実践
地域課題解決学習に取り組む高校生や大人が集う生徒発の全国グローバルリーダーズ summitを実施した。

成果と課題

- 全学科・コースで取り組みを始めたことにより生徒たちの活動が非常に活発になり3学年では30以上の地域におけるプロジェクトが展開された。
- コンソーシアムが実務的にも動き始めたことで地域と高校の結びつきがこれまで以上に強まった。
- グローバル学習成果発表会では、県内外から520名の参加があり本校の取組みを地域内外への発信できた。
- 地域と協働した探究活動の展開により、県内への就職状況は77%（目標値80%）と設定目標に非常に近い数値で過去10年で最高となった。



●探究と教科との接続についてはまだまだこれからである。今学期は研修会と教科内での取り組みを始めることができたので次年度以降は取り組みを加速させたい。